

綾部市上下水道審議会議事要旨

- 1 日 時 令和4年7月25日（月） 午後3時から
- 2 場 所 まちづくりセンター2階 第1会議室
- 3 出席者 委 員 上野 司、平野 正明、朝倉 正道、井田 新一、高橋 秀文、
土井 渡、中西 朋子、三好 ゆう、櫻井 裕子、泉 朝子
事務局 上下水道部長 柳田 嘉宏、上下水道部次長 小林 浩子、
下水道課長 野々垣 政明 ほか7名
- 4 審議会
 - (1) 開 会
 - (2) 副市長あいさつ
 - (3) 委員紹介、上下水道部組織及び職員紹介
柳田上下水道部長から紹介
 - (4) 会長あいさつ
 - (5) 審議会成立の報告と公開、非公開について
各委員の承認により、下記のとおり決定
 - ・会議は公開とする。
 - ・議事録要旨を発言者の氏名を記して、情報公開コーナーで公開。
 - ・委員名簿、議事録要旨をホームページで公開。
 - ・この方針は任期中継続する。
 - (6) 議 題
小林次長：
資料1、2「綾部市上水道事業の現状について」説明

野々垣課長：
資料3、4「綾部市下水道事業の現状について」説明

(質疑応答)
 - ・上野会長：
上水道の法定耐用年数を超えた管路延長の割合である管路経年化率が高くなっている
と説明にあったが、現在何%ぐらいか。

- ・小林次長：
令和3年度末現在で、24.33%である。

- ・三好委員：
上水道の留保資金についてはどのような状況か。

- ・小林次長：
今回の資料には留保資金の状況については記載していない。留保資金については令和2年度の審議会において報告した収支計画と同様の状況であり、約11億程度の見込である。

- ・上野会長：
水道未普及地について、現在、上林で159戸284人の方に水道が整備されていない状況となっているが、綾部市において、水道が整備できない理由を教えてください。

- ・小林次長
水道未普及地については、長野自治会、志古田自治会を除いた奥上林地域。長野自治会まで整備されている水道管を隣接する地域に延伸することも可能ではあるが、地域の方にアンケート調査を実施し意見をいただいた結果、多額の費用がかかることなどから希望者が少ない状況であった。また、家屋が点在している地域が多く、地元からの要望が少ない中、水道管を整備していくのは事業として厳しいと考えている。

- ・高橋委員：
奥上林地域の未普及地は自治会単位ではなく、最寄りの集落で小規模な水道供給設備をもっておられる。そのため個々の負担も大きいのではないかと思う。工事・費用について考えると難しいと思うが、水道が無いという状況を考えると何か手助けが必要ではないか。管路整備以外の検討はされているのか。

- ・小林次長：
簡易水道を上水道事業に統合し上水道整備がほぼ終わった。今後は未普及地の解消に向けた検討を行っていかねばならない。現在、地元との協議を進めている状況であり、管路整備については地元の同意も少なく難しいが、綾部市として上水道を整備する以外の対策が行えないか協議している。なんらかの補助を行うことにより、地域住民の方が水を確保しやすい状況となる方法を検討している。

- ・上野会長：
私の住んでいる地域では、かつて約40戸程度の住民で自分たちの簡単な簡易水道を作った。各集落の状況を踏まえてもらって、小規模水道を整備することも検討をして欲しい。水道の未普及地があるということは、上下水道審議会の委員として非常に気になるので、解消をしていただきたい。

・櫻井委員

私の住んでいるところは、小さな集落で、もともと4、5軒程度で使う小規模な水道。現在は3軒で使用。山中の沢のわき水が流れて集まったところにパイプを通して水が集落内に引っ張られてきている。大雨の降った後は水が濁る。イノシシがパイプをつついた振動でもパイプが外れて水が出なくなる。水が出なくなると、使っている住民でパイプが外れた場所を探しに行行って直す。大雨が降って濁った水はお風呂も茶色い、洗濯をしても茶色い。水圧も低く水を貯めるのにも時間がかかり不便を感じている。

アンケート調査からすると上水道の整備をして欲しいという意見もあったが、奥上林でもかなり東部の方に行くと、高齢者のみの世帯で後継者もいないし、お金をかけることもできないという意見もあり、地域差がでていたように思う。

(個人的には) 水道の整備を希望している。

・上野会長：

貴重な意見をいただいた。現地に住まわれている方々は本当に深刻な思いをされている。水道未普及地について、一部の方々のことと言わずに解決を図っていただきたい。奥上林地域の未普及地についてはこれまでの事業のあり方・進め方ではなく、費用負担についても検討していただき、住民の方々は水道整備をやりたいという方向へ結びつけられるよう検討していただきたい。

・小林次長：

市は、管路整備以外の手法として数戸での小規模な施設を整備していく手法についても検討したが、希望者が少なく小規模施設整備についても困難な状況であった。そのような中、未普及地の解消にはならないが、より安全な水を確保するための対策を検討していきたい。

・柳田部長：

今後、未普及地への対策を進めていき、『より安心して飲める水』を確保していきたいと考えている。

・上野会長：

次回審議会では、令和2年に答申を行った下水道使用料について、これまで新型コロナウイルス感染症拡大の影響で2年間据え置かせていただいたが、今後どのようにするか方向性を決めていく必要があると考えるので、審議会委員の皆様も十分に考えておいていただきたい。

(7) 閉会あいさつ 柳田上下水道部長
終了：午後4時15分